

台風・大雨発生



発生前までにできること

台風や大雨が発生する前に、洪水や浸水などの被害に備えて事前にしっかり準備しておきましょう。鉄道など交通機関の運行情報をチェックしておくことも肝心です。

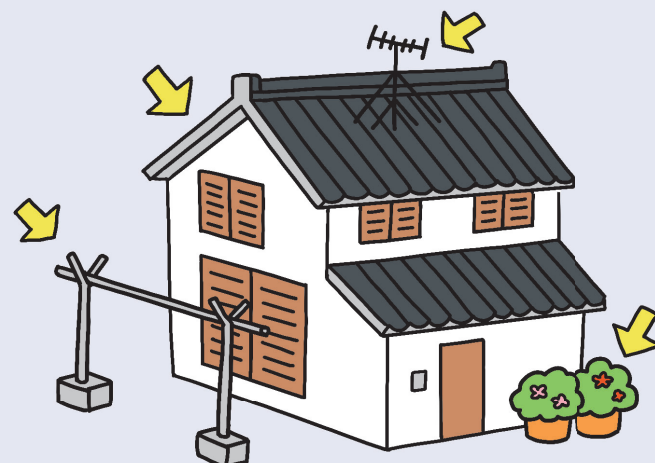
ハザードマップを確認

いざという時に備え、浸水範囲や水深など地域の危険箇所をあらかじめ把握しておきましょう。また、避難場所を地図上で確認しましょう。



飛ばされそうなものを固定する

特に台風の際は、テレビアンテナやゴミ箱、鉢植えなど、風で飛ばされそうなものを飛ばないように固定するか、屋内へ収納しておきましょう。



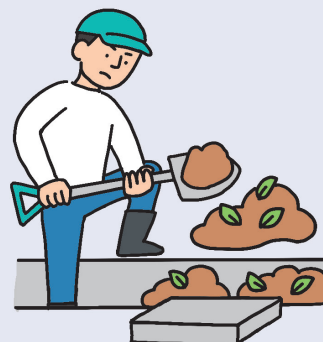
防災グッズや土のうを準備

非常時の持ち出し品をそろえた防災グッズ、水や土砂の侵入を防ぐ土のうなどを準備しておきましょう。



側溝や排水溝を掃除する

落ち葉やゴミで排水溝がふさがれていると、敷地や道路が冠水するおそれがあります。点検や清掃を行いましょう。



大切なものは2階や高いところへ

浸水などの被害にあわないよう、大切なものはあらかじめ高いところへ移動しておきましょう。



早めに避難を検討

避難情報に注意し、危険性を感じたら早めに避難しましょう。特に災害が想定される区域内は早期の避難が必要です。



発生前に外出していたら

災害は外出先で起こる可能性も十分にあります。会社や学校、車の中などにいる時に被災した場合の行動を把握しておくことは、自分の命を守るためにとても大切です。



安全な場所で待機する

むやみに移動せず、会社や学校、公共施設など安全な場所にとどまっておきましょう。



早めに帰宅を検討

交通機関が動かず、帰宅困難になる可能性も。気象情報に注意しながら、早めに帰宅しましょう。

最新の災害情報を入手しよう

降雨時はテレビやラジオ、WEBなどを活用し、気象情報・雨量・河川の水位情報に注意し、異変や危険を感じたら避難情報の発令を待たずに避難しましょう。



テレビ



ホームページ



メール・SNS



d
マークが目印です!

dボタン(データ放送)で情報を入手

テレビ番組視聴中にリモコンの「dボタン」を押すと、災害時にインターネットがない環境でも、さまざまな防災情報を入手できます。

取得できる情報

- 気象情報
- 避難所開設情報
- 災害情報
- ライフライン情報
- 交通情報
- など

! 災害時はデマ情報に注意

災害時には多くの人が不安になり、「根拠のないうわさ」や「偽情報」「誤情報」がSNSなどを通じて広がりやすくなります。本当に正しい情報なのか、冷静に判断するようにしてください。

